



教育 改革概論(四)

大内 民 恵

文部省編要の 官吏や高師や、帝大の教授などがかうした風馬牛的な態度で居るのでありますから全國の大小學校に於ける實際教育家の態度を見ますと「我々は我々のやる丈の仕事をやつて居るのだこれ以上には何とも仕様がなないのだ教育が徹底しないとすればそれは社會の罪だ」といつた様にこれ亦我聞せず焉でそのうした社會の分子が亦その教育の結果たることなどに「は更に気がつかない様なのであります、私共の所謂教育の不徹底とか或は研究の行詰りとか云ふ意味は以上の人々の云ふ教育の普及とか進歩とか或は研究の行詰りとか云ふのではないのであります、ひゞり教育のみならず如何なる學問でも如何なる事柄でも「未來永劫に」ある筈はないと思ふのであります。こゝに私が斷言しますが教育の不徹底とは國民教育の目的が十分に達せられて

るないことを云ひ、行詰り國民教育の充實に力め大學とは其目的を達するに必要に於ては一人格の陶冶及國がなく方法が立たないと云ふ家思想の涵養に留意し、實ふことを云ふのであります。業學校に於ては「徳性の涵我國の大小各種學校では其養育力め」師範學校に於て學校令第一條に其學校の種は「順良、信愛威重の徳性程度に應じそれ」其授を涵養することを努め一日に示し且つ其れと並列して「民たるの志操を振起せしむべきこと」

道徳教育 及國民教育の基礎を中學校に於て「特意を用ふべきこと、規律を國民道徳の養成」を高等守り、秩序を保ち師表たる女學校に於ては「國民道徳べき威儀を具ふべきこと」の養成に力め婦徳の涵養に等を明示してあります「留意」し高等學校に於ては

漸く認可された 平水道の起債

年度内覺束なき模様

既報平水道工事起債の認可一切の書類が大蔵省に移、は上京中なる佐藤助役の熱心正式認可を握るには到底本心なる陳情により漸く内務年度内に覺束なき模様である地方債課に於て許可決定つて自然繰延べ施行となるを見るまでに漕ぎつけたがらしく起債は兎に角多数町反對側から去十九日附を以ての意向が貫徹された譯で「また又土木、衛生の兩局ある因に全水道擴張金並に不認可の請願ありたる爲に工事概要を上げれば「一應調査の必要あり」として再び逡延の余儀なきに陥りたるも反對側の述べると「取水量一個三分を以て二萬四千四百圓、配水管二萬二千四百圓、用地買収其他雜費百十圓、機械器具三萬一千二百四十圓の合計廿九萬七千二百圓」を以て認可決定を五千人の給水(一人當四斗五升)を見込んだものであり、現在人口二萬七千人に

静岡本場 卸小賣 大角商店 平手植 路

値段と香味を御試下さい

工事計畫

昭和四、五年度年度の繼續を以て四年度一五萬九千九百八十六圓、五年度二一萬九百八十八圓、合計卅七萬圓の收入を十六萬二千圓國庫補助、八千圓財費支辨、廿萬圓の起債となし水源池取入口を六寸の鐵管に改め(取水量現在の一個三分を二個六分)に「流水の慮れるモルタル管を敷して濾過池及び沈澱池並に配水池各一個増設し更に八幡路配水池に高架水槽を設けて城山方面の水壓を強め

將來四萬の

人口に供給し得るだけの水源費千八百圓、導水管(上の原に至る)六萬三千二百圓、浄水場七萬二千七百圓及び配水池に至る鐵管六萬三千八百圓、配水池四萬四千四百圓、配水管二萬二千四百圓、用地買収其他雜費百十圓、機械器具三萬一千二百四十圓の合計廿九萬七千二百圓の掛金減を見られよう

化學的の 犯罪か

桑原には其 犯あるし 平局元書記補桑原庸夫(三)の犯罪は既報の如く次々からつぎと被害事實を發見されて總計壹萬五千圓余に達した切手の横領は數年間に渡るもので夫れが今日まで發見されなかつた巧妙なる遊り方は嚴重なる消印の下に金庫に納められてあるものを私かに開封して一袋から千圓乃至二千圓を抜き取り元の如く封印を行つた此のやりかたが全く他の想像に及ばざる巧みさで或は化學的方法によつたものでないかといはれてゐる尙尙取した切手印紙類の處分はさうしたか多分に共犯罪あるものと見られてゐる。

郡城石 合組行銀

和洋鋼鐵 金物問屋

生徒徒集

本 科 五十名
裁縫專修科 五十名
師範科 五十名
專攻科 三十名
文部大臣 認可
藤田女學校 (平町田町)
願書 二月三十日限り
湯本藤田女學校並に江名藤田女學校學則は別に之を定む

金屋商店

警城平町 電話一三九番 警東京一〇九番

帽子 シヤツ ネクタイ 子供服

の 春 初 は 意 用 御

ハヤルツ 番〇四一話電目丁四町平

平田町 サロン

いつも生ビールがこぼれます
キレイな座席で氣まげよく
フレンチ料理の献立

電話三五三



組合に就て(四)

尾形治右衛門

一、販賣組合 近來商
 業取引の單位は非常に大き
 くなつて來た様であります
 小規模な經營をやつてゐる
 人々の生産物は非常に少
 であつて今の世の中では販
 買上不利な立場にたゝねば
 なりません、其處で小規模
 な經營者が多數あれば生産
 者と消費者との間には買ひ
 集め人、地方問屋、卸賣
 屋、小賣商と云ふ多數の中
 間商人が出來て途中で甘い
 汁を吸ふ、たとへ其人達が
 公正な商賣をして居るとし
 ても今日品物が生産者から
 消費者に動く経路は餘りに
 複雑すぎるのであります。
 其處で小規模な工業家なり
 農家なりが團結して少ない
 生産物を集めて大量にして
 賣出すと云ふのが販賣組合
 なのであります。而かも單に
 品物を集めるばかりでなく
 品質の統一改善と云ふこと
 も行つて生産物の價値を増
 します。斯くして販賣組合は
 直接生産者の利益となる團
 体であると共に多數の中間
 商人がのぞかれることにな
 り途中で利せられない公正
 な値段で然かも新鮮なる品
 質のよい物を需用者に供給
 出來ると云ふ正義の販賣機
 關であります。販賣組合は組
 合員が生産したる物を其

經濟相雜觀

ま販賣するばかりではあり
 ません、組合で加工して販
 賣することも出来ず、例
 合は養蠶家の販賣組合は組
 合員に繭を供給させて組合
 の工場で繰糸して生糸とし
 て販賣することもよいので
 あります。現に石城郡には生
 繭を買取引上の改良を圖り
 て營業者の利便を主とした
 る有限責任石城販賣利用組
 合の設けあります。が差當つ
 ての事業として四倉驛前の
 大浦信用組合農業倉庫敷地
 内に繭市場を設置し春秋繭
 の繭買取引事業を行つて
 います、之れに依りて従來
 の取引上幾多の悪弊は取り
 のぞかれ而も現金にて割合
 高値に且つ手軽に賣却する
 ことが出来る様になりまし
 た、養蠶家は向後安心して
 蠶業に精を出して生産の増
 進を圖ることが出来ませう
 進んでは繰糸して金を取る
 様にも出来るのであります。

町のものゝために凡てが其
 倒れになる事はいけな
 事はない。好況時代には
 極めてよく走れたのだ
 である。地方の人口の増加率
 に見るとこの間の消息を雄辯
 のに物語つてゐる
 町村制實施當時と昭和三年
 末の人口を比較すると郡内
 は二割乃至五割位の増加率
 なのに平町は四十割、内郷
 平町の地下何千尺には石
 村は百割、好間村は五十割
 なにに平町は四十割、内郷
 平町の地下何千尺には石
 村は百割、好間村は五十割
 なにに平町は四十割、内郷
 平町の地下何千尺には石
 村は百割、好間村は五十割



よろこびますか
 うちりますよ

中島寫眞館
 平町字田町

ライ寫眞館
 平才樋小路
 電話八四七番

生徒募集

本校第一部 二ヶ年卒業五十名
 本科第二部 三ヶ年卒業五十名
 技藝高等科 二ヶ年卒業五十名
 全 專攻科 一ヶ年卒業三十名
 右各科共入學ヲ許可ス希望者ハ入學
 願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月末日マデニ
 本校宛提出ノコト
 ●四月四日午前十時入學式行
 ●學則請求ノ方ハ郵券二錢封入ノコト
 文部大臣 平陽女學校
 認 可
 平町樋樋小路(電話四四五番)

生徒募集

一、本科 生 一 百 人
 一、普通科 第一學年 百 五十 人
 一、普通科 第二學年 若 干 名
 一、願書提出期限 四月六日
 右 募 集 す
 磐城佑賢學舎
 電話 七 一 〇 番

生徒募集

一、卒業は産科、看護婦兩科通じて
 一ヶ年
 一、入學資格 高等小學卒業又は同
 等以上のもの
 一、申込期日 四月八日迄
 平 南 町
 平産婆看護婦學校
 校長 清野キヨ
 (電話三〇七番)

産婆看護婦 募集

第一 一回
 一 修業年限 産婆を通じて一ヶ年
 一 募集人員 八十名願書四月八日迄
 一 入學資格 高等小學卒業若くは之と同等
 以上の學力ある者 (無試験)
 平町一丁目 電話三五一番

石城産科婦學校

校長 鷹崎千代

縣會議員 古川傳一

縣會議員 山崎吉平

縣會議員 鈴木辰三郎

代議士 比佐昌平

代議士 木村清治